

2007.11.23 信濃毎日新聞報道

反対署名が白馬村民の過半数に/北ア広域のごみ施設

北アルプス広域連合が白馬村飯森を候補地に選定した新ごみ焼却施設計画に反対する「白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会」(宮田温巳会長)は二十二日、計画の白紙撤回を求める村民五百三十九人分、村外の四百九十三人分の署名を同広域連合長と同連合議会議長に提出した。

村民の署名は九月までに提出した分などと合わせると四千七百二十八人分で、村民の約51%。宮田会長は「反対署名が全村民の半数を超えたことを重く受け止めてほしい」と述べた。

同会は、候補地の選定過程や、候補地近くにある断層などを問題視。住民と専門家、行政による委員会を発足させ、計画をどこまで白紙に戻すか検討し、用地選定をやり直すよう提案している。